

事業所名		児童デイサービス・アニマートおおつか		公表日		令和8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		ダイニングテーブルを活用して、活動スペースの区分けを行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		法令の配置基準を満たしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		施設内はバリアフリー化されており、マットとダイニングテーブルによって区分けされております。	ホワイトボードの活用や、絵や写真の張り出しによって視覚的に設備が分かりやすいようこれからも工夫して参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		手洗い石鹸、アルコールや室温調整・加湿器の設置、マスクの提供等で感染予防を行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	クールダウンの為に自発的に個室に行かれるように相談室を使用しています。	相談室を使用する際は必ず職員が付き添います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		定期的にカンファレンス・ミーティングを行っています。	日々の申し送りでも、支援の振り返りや情報共有を行って参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		集計後、職員間で共有し、話し合いを行っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		定期的な職員の面談・ミーティングを行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		法人内での児童指導員研修や外部研修、事業所内での勉強会等を行っています。	今後も内外外部研修や、事業所内の勉強会にて職員の資質の向上を図って参ります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		6ヶ月に1度保護者様と面談を行い、ニーズや課題をお聞きした上で、個別支援計画会議にて職員と情報共有し、計画書を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別支援計画会議にて情報共有し、職員全員で統一した支援が行っております。	個別支援計画会議以外でも日々の申し送り等で、こどもの支援の見直しを行って参ります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		13に同じ	13に同じ	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		個々の特性に応じてベクスカードや絵カードを使用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		担当を決め、その職員を中心に会議や検討会を行っております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		個別活動と集団活動を組み合わせて、定期的な内容の見直しを行っております。また、祝日や休校日はイベントを企画しております。	今後も楽しみに通って頂けるよう努力して参ります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		個々の状況に応じて作成し、支援しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		申し送り、カンファレンスを必ず実施しております。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		翌日の午前中に必ず申し送りにて振り返りを行っています。	必要に応じて適宜話し合いを行って参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		勉強ファイル等を作成して、定期的にカンファレンスを行っています。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		6ヶ月に1度保護者様と面談を行い、ニーズや課題をお聞きした上で、計画書の見直しが必要か判断を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		子どもの特性に合わせて、いろいろな場面での選択肢を示す等工夫して支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		管理者、児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。	会議開催時には必ず参加できるように調整して参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		必要に応じて連携を取っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		定期的に調整会議や学校お迎え時に情報共有を図っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2		必要に応じて連携を図って参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		必要に応じて連携を図って参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		必要に応じて連携を図って参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		保護者様のご希望があれば今後検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	開催時には参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡帳や送迎の際に情報交換をさせて頂いており、職員全員にも情報共有しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	必要に応じて面談させて頂いております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時にご説明させて頂いております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		6ヶ月に一度保護者様と面談を行っています。また、必要に応じて適宜面談等を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談があった際に対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		毎年12月に保護者会&クリスマス会を開催し、保護者様同士やきょうだい同士での交流を図る機会を設けております。	今年度も開催予定ですので、その際に保護者様同士やきょうだい同士で交流する機会を支援して参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		フローチャートに沿って、迅速な対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		月に一度お便りにて、お知らせや日常の様子を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人ファイル等、鍵付き書庫にて保管しております。	今後も個人情報に十分留意して参ります。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		今後検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		マニュアルの周知徹底・避難訓練を行っております。	職員だけでなく、保護者様への周知も徹底して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		業務持続化計画を作成し、3か月に一度避難訓練（地震・水害・火災）を行っております。	今後も避難訓練を通して、子ども達にも災害時の身の守り方や避難場所を覚えてもらえるようにして参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		てんかん発作がある子どもに関しては職員全員に対応方法を周知し、支援にあたっています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		アレルギーのあるお子さまに関しては職員に周知しております。	今後も、おやつや調理実習提供時には細心の注意を払って参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画の作成、研修、点検を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全確保について話し合い、ご家族にも配布物等で周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットが起きた際は、報告書の提出とともに、対策会議・検討会議を行っています。	ヒヤリハットが起きた時だけでなく、日常気づいたことや事前対策が必要な物事等を、適宜話し合っ参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会を設置し定期的に会議を行うとともに、内外研修に参加したり、勉強会等で事例検討を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		3	身体拘束はしていません。	